



図書館だより

第 257 号
〒800-0352
福岡県京都郡苅田町
富久町1-17-8
苅田町立図書館
オーケウム
TEL 436-0946
FAX 434-9314

くらしの中に図書館を！

図書館で
図書館のこと
を学んだよ！



元気よく質問し、熱心にメモを取る白川小学校3年生のみなさん(2012. 1. 27)

PICK UP !



『北欧でみつけた
手づくりの暮らし』
セキ ユリヲ 著
マガジンハウス

スウェーデンの手工芸の学校に留学していた作者が語る北欧の1年間。手づくりコースターにくるみポタン、ポンポンシュシュ、雪景色のブックカバー……。自然に親しみ、手づくりの暮らしを楽しみ、周囲の人々の温もりを感じる日々。「素敵だな」と思う心を大事に、自分たちで何でも作る北欧の暮らしの一部を日常に取り入れてみてはいかがでしょう。

人気＆新刊の本

- ・マスカレード・ホテル 東野 圭吾
- ・真夏の方程式 東野 圭吾
- ・謎解きはディナーのあとで 東川 篤哉
- ・謎解きはディナーのあとで2 東川 篤哉
- ・人生がときめく片づけの魔法 近藤 麻理恵
- ・境遇 湊 かなえ
- ・心を整える。 長谷部 誠
- ・ヒア・カムズ・ザ・サン 有川 浩
- ・放蕩記 村山 由佳
- ・慈雨の音 宮本 輝
- ・晩節 佐伯 泰英
- ・日本人なら知っておきたい日本文学 蛇蔵
- ・ビブリア古書堂の事件手帖2 三上 延

2月の図書館カレンダー

はらぺこあおむしのおはなし会 第1水曜 11:00~
Jason'sストーリータイム 第2水曜 11:00~
図書館員のおはなしタイム 毎週土曜 14:30~

日	月	火	水	木	金	土
2/14⇒2/19 苅田書道会 役員展	2/25⇒3/4 京都郡書写 作品展		1 はらぺこあおむしのおはなし会 移動図書館 (南原小学校)	2 移動図書館 (苅田小学校)	3 移動図書館 (片島小学校)	4 おはなしタイム 移動図書館 (苅田小学童)
5	6 休館日	7 移動図書館 (バンジープラザ)	8 【映画】 バーバー Jason's ストーリータイム	9 移動図書館 (白川小学校)	10 移動図書館 (馬場小学校) (馬場小学童)	11 祝日開館 (建国記念の日)
12 【映画】 シュレック3	13 休館日	14 移動図書館 (バンジープラザ)	15 【展示】⇒ 移動図書館 (苅田みどり幼稚園)	16 移動図書館 (白川保育園)	17 移動図書館 (片島小学校)	18 おはなしタイム 移動図書館 (苅田小学童)
19	20 休館日	21 移動図書館 (与原小学校)	22 【映画】 ファージ 移動図書館 (善立寺保育園)	23 移動図書館 (白川小学校)	24	25 【展示】⇒ おはなしタイム
26 【映画】 シュレック フォーエバー	27 休館日	28 移動図書館 (与原小学校)	29 休館日 (館内整理日)			

2月の映画会案内

午後2時～ AVホール

水曜名画座

《コーエン兄弟監督映画特集》

8日 バーバー

116分

22日 ファージ

98分

日曜子ども映画会

《シュレック特集》

12日 シュレック3

93分

26日 シュレック フォーエバー

93分

2月の特設コーナー

特集

平清盛
～平安時代の武士の世界～

今年の大河ドラマは、平清盛です。平安時代と聞くと、十二単や源氏物語など、きらびやかな貴族のイメージですが、今回は戦いやよろいなどの武士の世界が舞台です。ドラマがより楽しめる平清盛の人物像や時代背景がわかる本を集めています。



児童特集

伝説の生き物

今年の干支(えと)は、辰(たつ)です。そこで、辰や竜をはじめ、鬼・かっぱなど日本の伝説の生き物が出てくるおはなしを集めました。何だかこわくて強そうですが、いったいどんな生き物なのでしょう…。ぜひ、読んでみてください。

日誌抄 (1月)

(視察見学等)

- 7日 第4回ザ・書グループ展 (1/7~1/9)
- 12日 愛媛県新居浜市立別子銅山記念館 1名
- 17日 第11回苅田水彩画展
- (1/17~1/22)
- 20日 北海道北見市立中央図書館 3名
- 27日 白川小学校3年生 15名



(映画会) 水曜・日曜・冬休み 4回
(おはなしタイム) 土曜 4回
(はらぺこあおむしのおはなし会) 1回
(Jason'sストーリータイム) 1回

としょかん、ぶら~り、来ぶらり~♪ Part2.分館編

西部・北公民館・小波瀬コミュニティセンターの公民館まつりが、下記の日程で行なわれます。各分館図書室では、**ブックリサイクル**を行います。お一人5冊までお持ちかえりいただけます。いずれも**午前10時から午後5時半**までです。開館時にすべてのものを出すのではなく、減り次第、随時出していきます。どうぞ、都合のよい時間にお越しください、気に入った本をお持ちかえりください。

その他、公民館まつりの詳細は、「広報かんだ」をご覧ください。



西部公民館まつり
2月4日(土)
5日(日)

北公民館まつり
2月11日(土)
12日(日)

小波瀬コミュニティセンターまつり
2月18日(土)
19日(日)

初めて分館へ行かれるという方のために、それぞれの分館の特徴を紹介します。ぜひ、ご利用ください。



【おとぎの国のおはなし会】
偶数月の第3火曜日11時から。ぜひ、お子さんを連れておこしください。
【AVコーナー】
3分館で唯一、図書館のビデオ・DVDの視聴ができます。



西部公民館



北公民館



小波瀬コミュニティセンター

【昼休みも開いています!】
図書室は、2階にあります。昼休みは以前閉めていましたが、リニューアル後は開いています。綺麗になった図書室へ、ぜひお越しください。



こんなことも、できます!

苅田町立図書館の利用券で、すべての分館で貸出できます。返却も、どの館でもできます。(分館の新刊雑誌は除く) また緑の利用券の方のみ、他の館で所蔵の本をお近くの館まで取り寄せることができます!(予約をお願いします。)

【ゆめたいむのおはなし会】
年4回程。今回は、公民館まつりスペシャルです。**2月11日(土) 10:30から**
【蔵書について】
時代小説が充実しています!

図書館見学

一月二十七日(金)、白川小学校の三年生が図書館見学に訪れました。移動図書館の中や書庫など、館内を興味深く見てまわりました。



こんな質問もありました!

「図書館は、いつまでたのびますか?」「二日の利用者数や、貸出数はどれくらいですか?」「一番読まれている本は何ですか?」等の他に、次のような質問がありました。

〇いつまでたのびますか?

A. スタッフそれぞれきつかけはいろいろですが、みんな本と図書館が好きだからだと思います。本は、自分の知らないいろいろな世界を教えてください、本当に楽しいですよ。

〇図書館に働いてみたいって思っています。

A. うれしいことは、みなさんのお役に立てて、笑顔に出会えること。みなさんが好きな一冊に出会った時や探している調べもの本を手渡すことが出来た時、本当にうれしく思います。困ったことは、本が返ってこず、待っている次の予約の人に読んでもらえないことや、本の扱いが荒く傷んでしまうことです。

図書館のハード面だけでなく、ソフト面に関する質問もあり、とてもうれしく思いました。

視察がありました

一月二十日(金)、北海道北見市立中央図書館の方が視察にいられました。

新館建設に向けて、九州の三つの公共図書館を見学されているとのこと、北分館にも足を運ばれました。

館内施設のことや資料のことなどについて、熱心に聞かれました。



講演会のお知らせ

二月十日(金)午後二時から四時まで、AVホールにて、福岡県立図書館長・白土なるみ氏による「視覚障がい者の情報環境とボランティア活動」という講演会があります。福岡県立図書館および録音図書連絡協議会の主催で、対象は、視覚障がい者サービスに携わる施設職員・ボランティア等となっております。事前の申し込みが、必要となりますので、詳しくは、カウンターへお尋ねください。

図書の寄贈

ありがとうございました

次の方々より図書の寄贈がありました(敬称略)

麻生真一・(株)エルネット・公益財団法人荒川区自治総合研究所・古賀春美・国土交通省九州地方整備局・財団法人自転車産業振興協会・西部ガス(株)・久間義文・(株)日本電信電話(社)・日本リウマチ友の会・福岡県環境部環境政策課・福岡県公共図書館等協議会・福岡県総務部県民情報広報課・福岡県みよみ・藤田啓二郎・(株)フラウ・別府大学司書講習事務室・みやこ町上高屋小学校・八尋秀喜(以上一月分掲載)

今月の俳句 (新樹俳句会・三水会)

束の間の壁の影絵や冬蕨 (富久町・金森 千恵)
紙漉きの音かすかなり雪催ふ (馬場・古賀久美子)
豆打つや子の声空にはじけをり (集・早田 啓子)

言葉の小箱

困難に立ち向かっていく人には、常に向上の機会が与えられている

―くらしの標語カレンダーより―

「艱難汝を玉にす」とか「玉磨かざれば光なし」という諺があります。人間が持っている能力や素質は、何らかの働きかけを受けて初めて鍛えられ、磨かれていくものです。しかしながら、自分自身で向上への努力をしない限り、その成果は望めません。常に困難にも立ち向かっていくこととする意欲を持った積極的な人は、何かに生き甲斐を感じたり、使命感を持って生きていく訳ですから、どんな些細なことであっても見逃さず、向上の機会として見事に捕らえることが出来るのです。前向きな姿勢を無くしては、自身の進歩向上は望めないことに気付きたいものです。